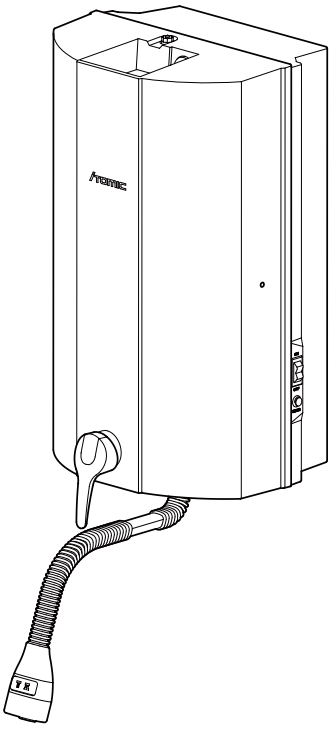
iHOT14

ITOMIC

工事要領・取扱説明書

製品名：壁掛貯湯式電気温水器（元止式）

型　式：EWM-14R



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

株式会社 日本イトミック

もくじ

共通項目 ……2

安全上のご注意……3

iHOT14（型式：EWM-14R）について ……5
各部名称 ……5
仕様一覧 ……6

工事要領 ……8

施工前にご確認ください……9
1. 部品の確認 ……9
2. 設置場所の確認 ……10

施工する……11
1. 設置工事 ……11
2. 配管工事 ……13
3. 電気工事 ……14
4. 施工後の確認 ……14

試運転を行う……15
1. 試運転前の確認 ……15
2. 温水器に給水する ……15
3. 試運転を行う ……17
4. 試運転後の確認 ……19

取扱説明 …… 20

使用方法……21
1. 使用前の準備と確認 ……21
2. 運転する ……21
3. 出湯する ……23

お手入れの方法……25
保守点検項目と実施の目安 ……25
長期間使用しないときは ……25
短期間使用しないときは ……27
凍結防止対策 ……27
漏電遮断機能の動作確認 ……28
外装のお手入れ ……28
キッチンシャワーのお手入れ ……28

こんなときは……29
故障かな？と思ったら ……29
リセットの方法 ……31

アフターサービス……32
消耗品について ……32
補修用性能部品について ……32
メンテナンス契約について ……32
修理をご依頼の際には ……32

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

⚠警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◯の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
◯の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

重要事項：必ずお守りください

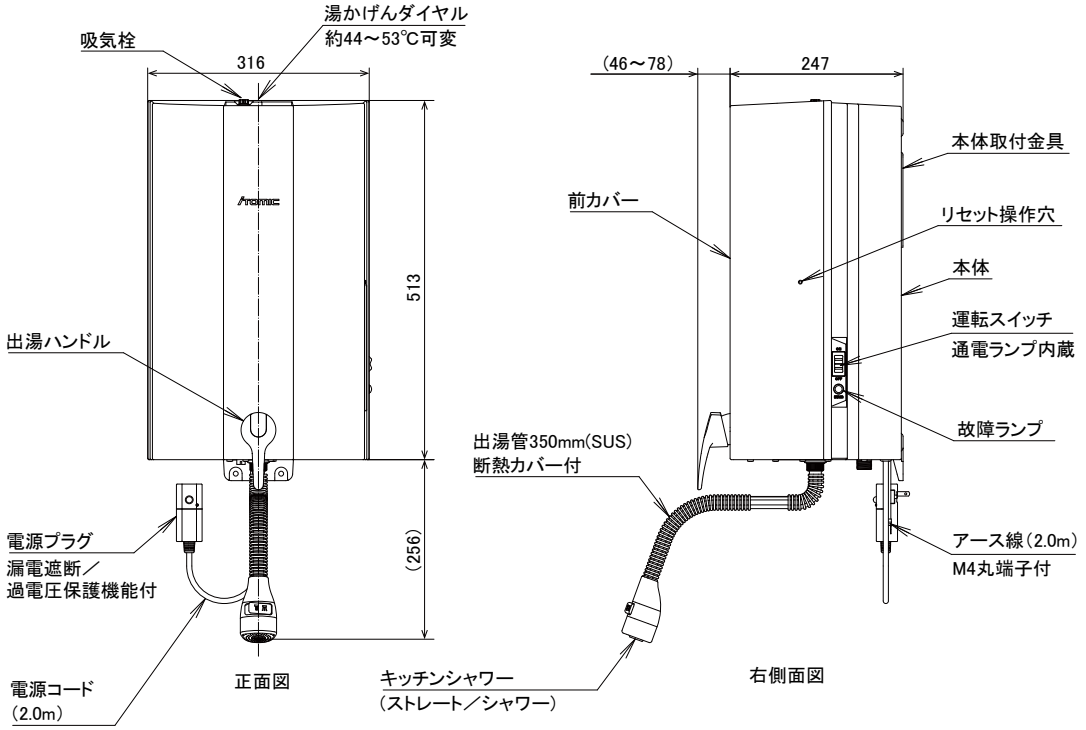
⚠警告	
⏚	**アース（D種接地）工事を確認してください。** アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
❗	**定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には± 10%以内の環境でお使いください。** 故障、火災の原因となります。
❗	**電源プラグ内蔵の漏電遮断機能の動作を必ず確認してください。** 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。
⃠	**屋外に設置しないでください。** 感電、故障の原因となります。
⃠	**メンテナンス作業時以外は前カバーを開けないでください。** 感電、やけどのおそれがあります。
⃠	**アース線はガス管や水道管に接続したり、電話線や避雷針のアースおよび他の電気機器のアースと共用しないでください。** 火災や爆発など事故の原因となります。
⃠	**本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。** 発火のおそれがあります。
⃠	**タンク内の湯温が高い場合には絶対に排水しないでください。** 配管が破損して、やけどしたり漏水するおそれがあります。
⃠	**水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。** 腐食や感電、故障の原因になります。
⃠	**水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント（電源プラグ付機種の場合）を設けないでください。** 腐食や感電、故障の原因になります。

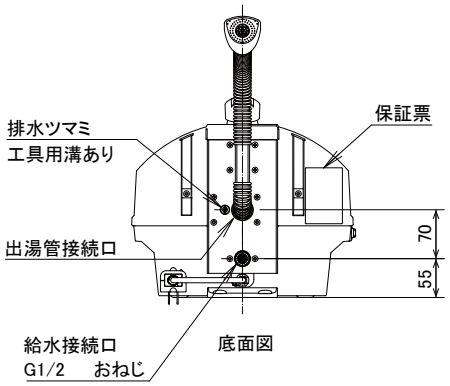
⚠注意	
⃠	**機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。** 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	水道水（上水）以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、漏電の原因となります。
	キッチンシャワーの先端は絶対にふさがないでください。また、キッチンシャワーに泡沫器具やホース・浄水器など取り付けないでください。 漏水、故障の原因となります。
	キッチンシャワーを外して使用しないでください。 お湯が周囲に飛び散りやけどをするおそれがあります。
	出湯管を引っ張ったり無理な力を加えないでください。また、無理に曲げたりねじったりしないでください。 漏水、故障の原因となります。
	運転中は吸気栓（樹脂つまみ）をゆるめないでください。 吸気口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は使用しないでください。 健康を害するおそれがあります。
❗	**床面に防水、排水処理を施してください。** 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。 落下・故障の原因となります。
	給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ（切削粉、砂、シールテープ等）を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。 故障や漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 水質が悪化するおそれがあります。
	規定の給水圧力（静止圧）にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。 凍結により破損、漏水のおそれがあります。
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。 感電、発火のおそれがあります。

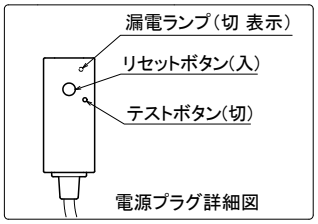
iHOT14（型式：EWM-14R）について

本機は約 85℃の沸かし上げを行う元止式の壁掛貯湯式電気温水器です。

各部名称（単位：mm）







仕様一覧

型式		EWM-14R
貯湯量		約 14L
定格	電圧	AC100V
	周波数	50 ／ 60Hz
	消費電力	701W
給水方式		元止め式
沸上温度		約 85℃
出湯温度		給水温度～約 50℃
出湯流量		止水～約 6L ／分
使用条件	設置環境温度	0 ～ 40℃（凍結しないこと）
	一次側使用水温	40℃以下（凍結しないこと）
	使用水圧（静止時）	0.1 ～ 0.75MPa
	設置場所	屋内
配管接続口径	給水	15A（G1/2）
主要部品	ヒーター	シーズヒーター
	温度調節器	バイメタル
安全装置	空焚き・過昇温検出装置	バイメタル（手動復帰式）
	電源プラグ	漏電遮断、過電圧保護機能付
	アース線	2m（M4 丸端子付）
本体寸法（mm）		幅 316 ×奥行 247 ×高さ513
満水質量		約 22.5kg
電源コード長さ		2m

※沸き上がり時間の目安はP.22を参照してください。

MEMO

工事要領

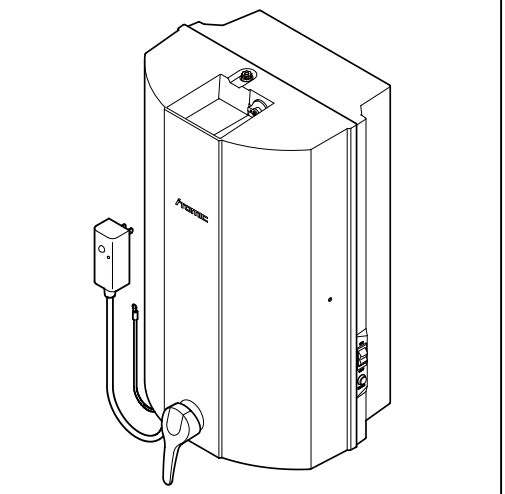
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

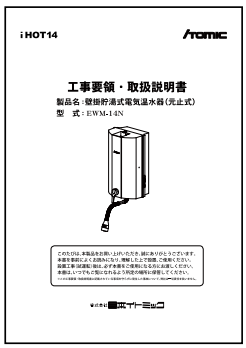
1.部品の確認

【本体および付属品】

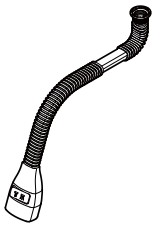
EWM-14R本体



付属品

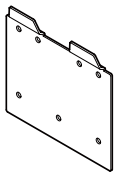


工事要領、取扱説明書× 1
（この冊子です。当冊子は工事終了後、
ご使用になられる方へお渡しください。）

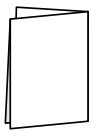


出湯管 350㎜＋
キッチンシャワー

出湯管接続口用
Ｏリング（スペア）



本体取付金具



本体取付位置図

【お客様にてご手配ください】

①止水栓 ・・・・・・・・・排水やリセット操作時に給水を止めるため必要です。
②給水配管 ・・・・・・・・温水器と給水元を接続するために必要です。(ステンレスフレキ管などを使用して温水器を取り外せるようにしてください)
③ストレーナー ・・・・・温水器内へのゴミの流入を防止します。
④パッキン、シールテープ ・・配管接続部分から漏水させないために必要です。
パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。
ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。
⑤アンカーボルトなど・・硬質壁(コンクリートなど)に本体取付金具を取付けるために必要です。
推奨アンカーボルト:カールボルトプラグM4×25(5本以上)

上記(①～⑤)は必ずご用意ください。

関連商品(弊社にてお買い求めいただけます。)

長さ違い出湯管 ・・・・・550mmと 750mmをご用意しております。
キッチンシャワー ・・・・出湯管に取り付けます。

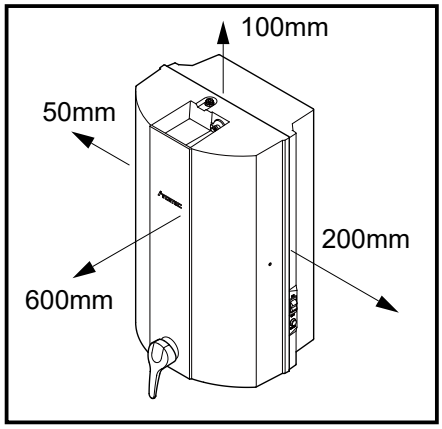
2. 設置場所の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結の可能性がる場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防処置を施してください。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	☐
本体まわり	温水器のすぐ下にガスコンロなどの燃焼器具はありませんか？ 安全のため、燃焼器具の近くには設置できません。	☐
取付壁面	垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1 ～ 0.75MPaの範囲内ですか？ 温水器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	☐
電圧	定格電圧の ± 10％以内ですか？ 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の± 10％以内の電圧であることを確認してください。	☐

EWM-14Rのメンテナンススペース

本製品のメンテナンス用スペースは、機器に対して上方に100mm以上、右方に200mm以上、左方に50mm以上、前方に600mm以上必要です。



施工する

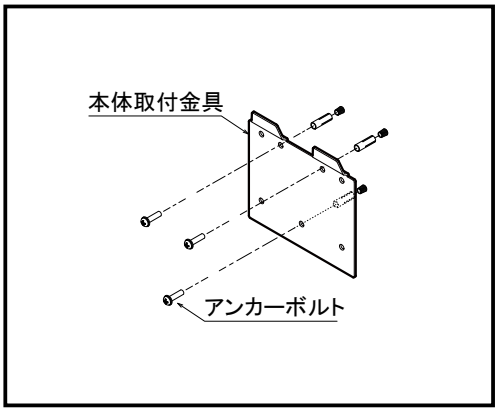
1. 設置工事

電気温水器の設置

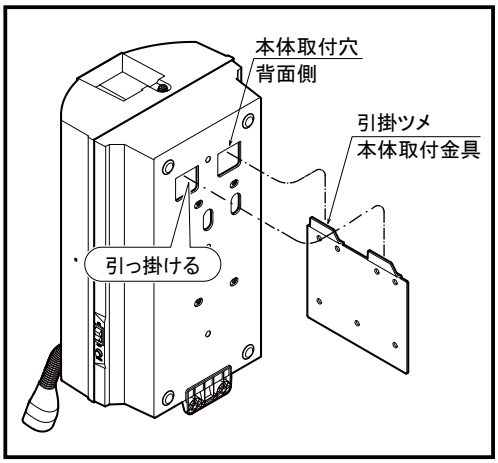
①本体取付位置図に従い、アンカーボルトなどで壁面に本体取付金具を取り付ける。

※最低でも3点で取り付ける必要があります。
取付位置はP.12ワンポイント参照。

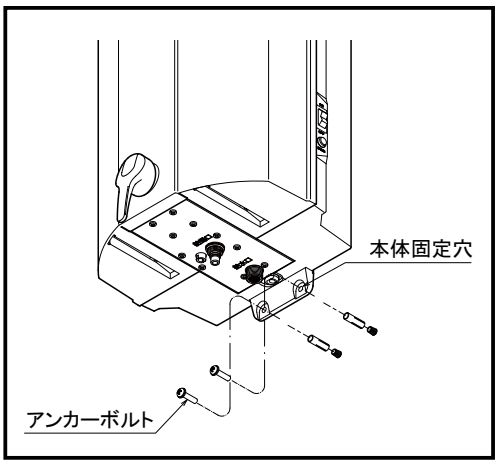
満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。
故障・落下の原因となります。



②本体取付板の引掛ツメを温水器背面の本体取付穴に引っ掛けて取り付ける。

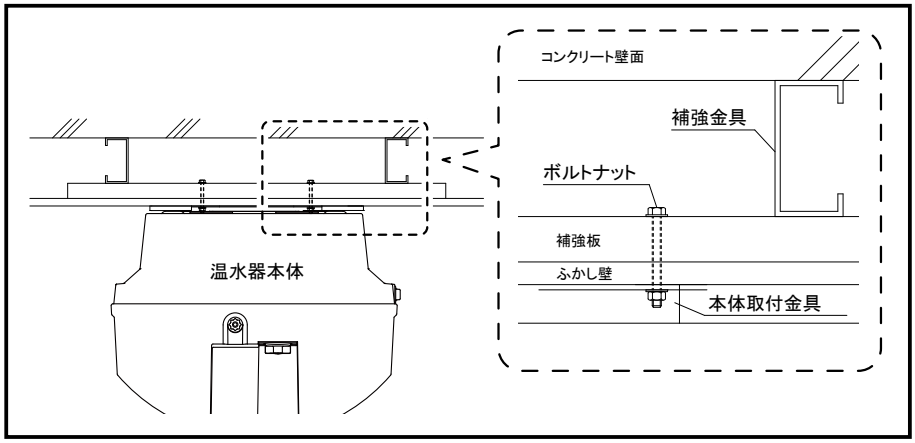


③アンカーボルトなどで本体固定穴から壁面に取付けます。

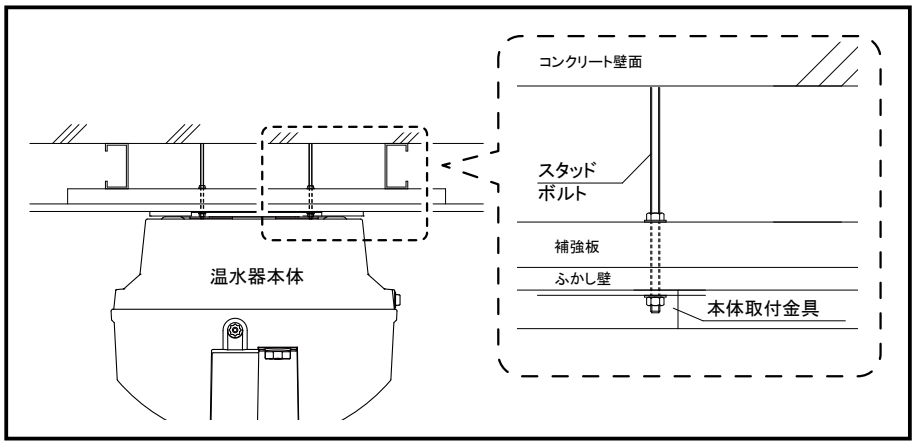


ふかし壁取付例

【取付例１】 補強金具、補強板を用意し、ボルトナットで取り付ける。



【取付例２】 補強板を用意し、スタッドボルトで取り付ける。

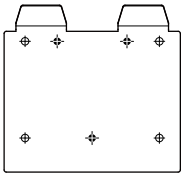


ワンポイント P

設置場所の状況などにより 、より強固に取り付けたい場合は穴４点を追加で使用し、７点で施工を行ってください。

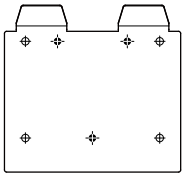
最低3箇所に取付

穴を利用する
（3箇所）



強固に取り付ける場合

穴全てを利用する
（7箇所）



2.配管工事

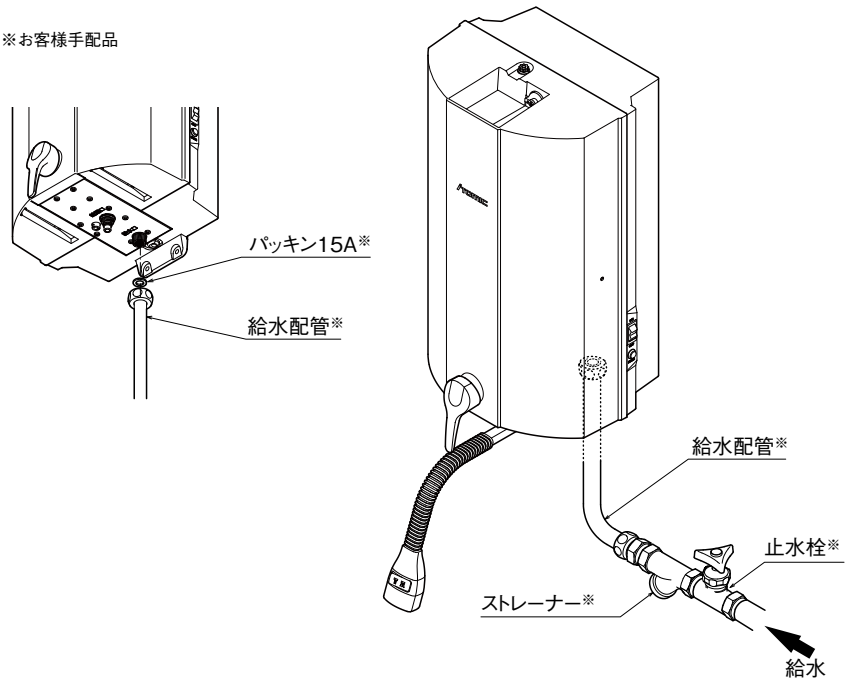
ワンポイント

・袋ナットやユニオンを利用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また、配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープを使用してください。

・本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防措置を施してください。

①下記の標準配管図を参考に配管工事を行ってください。

標準配管図



出湯管の取り付け

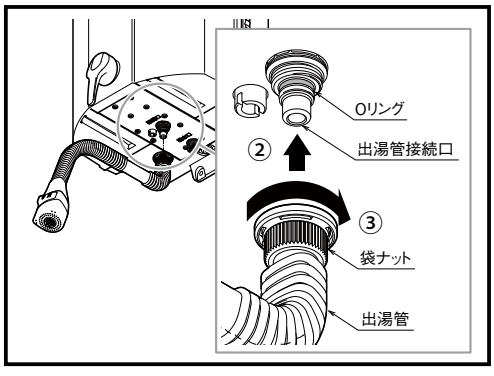
①出湯管接続口に、右図のとおりにOリングが挿入されていることを確認してください。

②出湯管を接続口に強く押し込みます。

③袋ナットを最後まで手で締め込んでください。

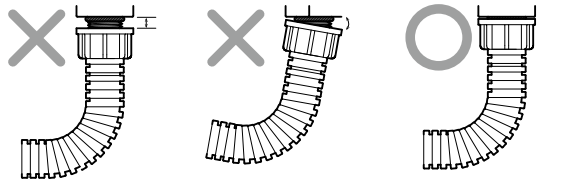
ワンポイント

出湯管を奥まで押し込めない場合はOリングを水で濡らすと入れやすくなります。



ワンポイント

袋ナットが傾いていたりするなど、出湯管が正しく取り付けられていないと漏水の原因になります。



接続部の隙間が大きい　傾いている　接続部の隙間がない

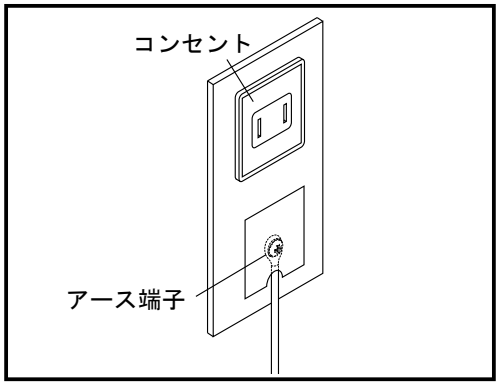
お願い　**・温水器から出たお湯を受ける流し台の排水管は耐熱性のものを使用してください。**

3. 電気工事

	アース(D種接地)工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	アース線はガス管や水道管、および電話線や避雷針のアースに接続したり、他の電気機器のアースと共用しないでください。 故障、火災の原因となります。

①本体のアース線をコンセント側アース端子に接続してください。

※電源プラグはコンセントに差し込まないでください。



4. 施工後の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
設置工事	温水器にがたつきはありませんか？	□
配管工事	給水管や出湯管の接続部分にゆるみはありませんか？	□
電気工事	アース線が正しく接続されていますか？	□
	D種接地工事は正しく行われていますか？	□
温水器	吸気栓は閉まっていますか？	□
	排水ツマミは閉まっていますか？	□
	電源プラグはコンセントから外れていませんか？	□

試運転を行う

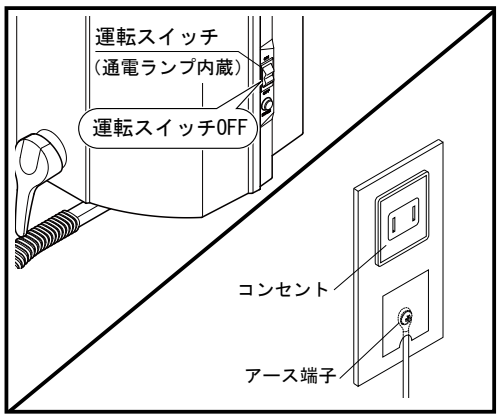
1. 試運転前の確認

チェックリスト

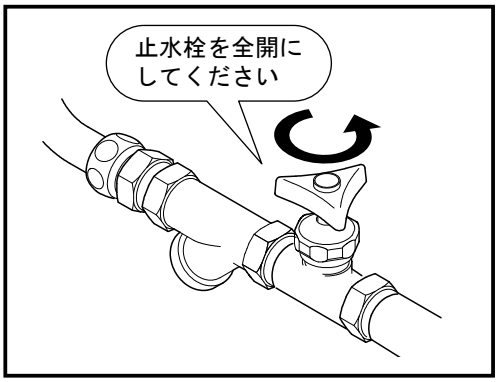
項　目	チェック内容	チェック
温水器	吸気栓は閉まっていますか？	□
	排水ツマミは閉まっていますか？	□
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	□

2. 温水器に給水する

①運転スイッチがOFFになっていることを確認し、電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。外れていない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。



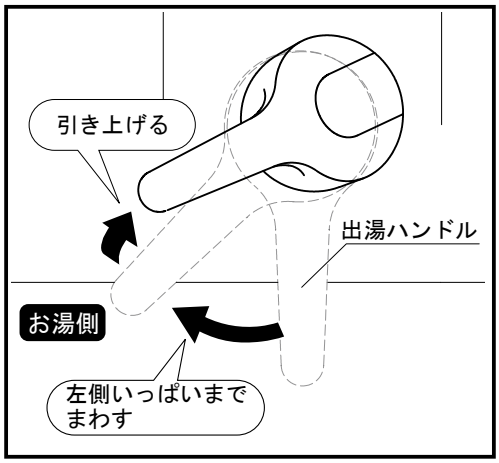
②止水栓を全開にします。



③出湯ハンドルを左側(「湯」文字方向)いっぱいまで回してください。

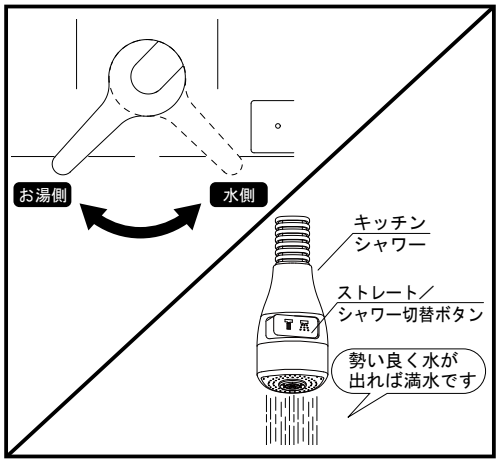
④その状態で出湯ハンドルを引き上げると機器内のタンクに給水が開始されます。満水になるまで約3分待ってください。

※途中からキッチンシャワーより断続的に水が出始めますが、そのまま給水を続けてください。



⑤キッチンシャワーから水が勢いよく出ているのを確認したら、出湯ハンドルを左右に回します。流量がどちらでも同じであれば給水完了ですので、出湯ハンドルを下げてください。

※出湯ハンドルが左側のときに断続的な出方の場合は、③から⑤を繰り返してください。



ワンポイント P

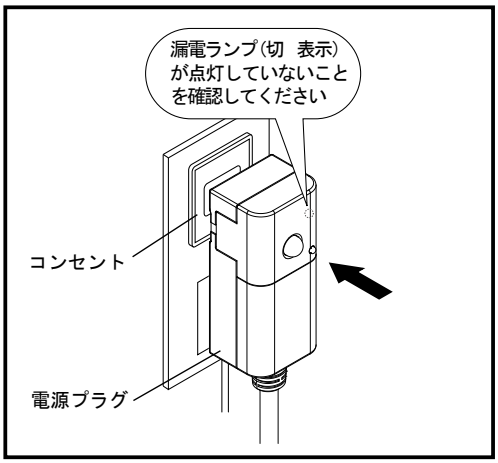
ストレート／シャワー切替ボタンを右に押してシャワーにすると、水の勢いがわかりやすくなります。
きれいにシャワーになれば満水です。

※満水でないうちは、切替ボタンをシャワーにしていてもシャワーにならず、断続的に水が出ます。

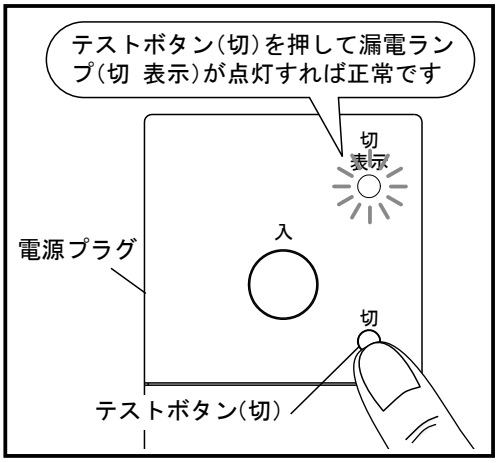
正常に給水が完了していない状態で運転を行うと、安全装置が作動して温水器が使用できなくなります。復旧するためには機器のリセットが必要になりますのでご注意ください。

3. 試運転を行う

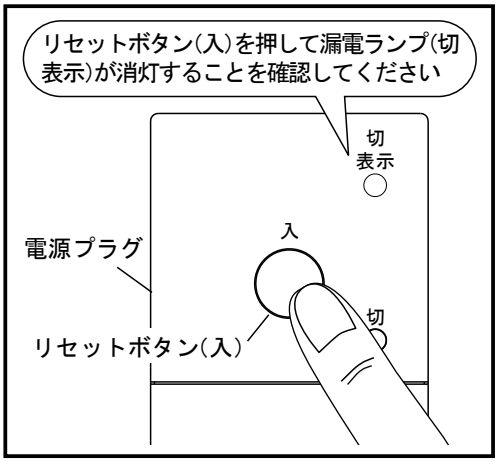
①電源プラグをコンセントに差し込み 、プラグ本体の漏電ランプ(切 表示)が点灯していないことを確認してください。



②電源プラグのテストボタン(切)を押して、漏電ランプ(切 表示)が点灯することを確認してください。



③リセットボタン(入)を押して、漏電ランプ(切表示)が消灯すことを確認してください。



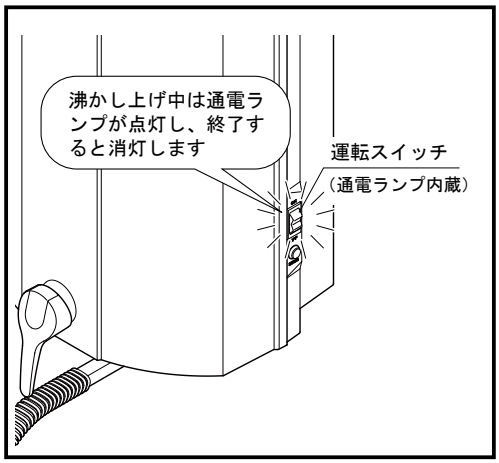
④運転スイッチをONにして、通電ランプが点灯することを確認してください。

⑤沸かし上げが終了すると通電ランプが消灯します。(沸き上がり時間はP.22『沸き上がり時間の目安』参照)

沸し上げ時の注意事項

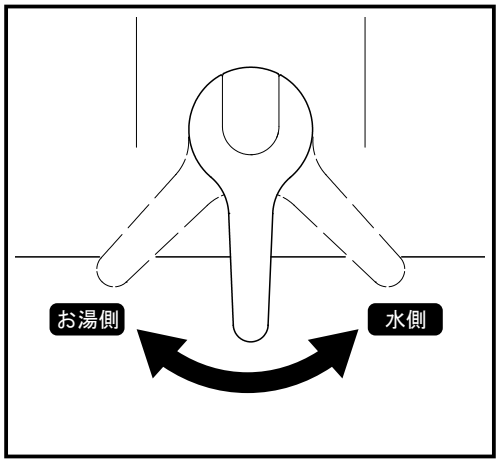
●機器内のタンクを満水にしてから運転スイッチをONにしてください。故障の原因となります。

●沸かし上げ中は運転スイッチ(通電ランプ)が点灯します。キッチンシャワーから膨張水が滴下しますが、故障ではありません。沸し上げが終わると通電ランプが消え、滴下も止まります。

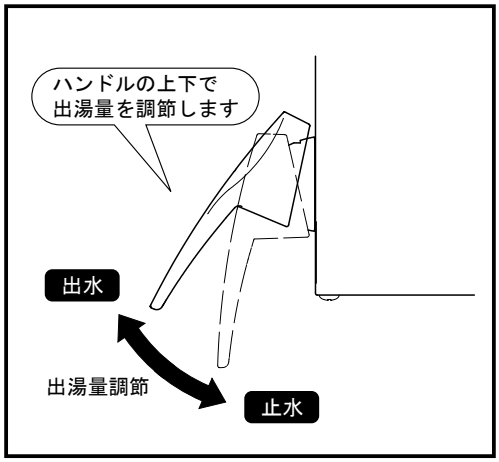


⑥出湯ハンドルは左側が高温、右側が低温となります。

※左側いっぱいが約 50℃、右側いっぱいが給水温度です。

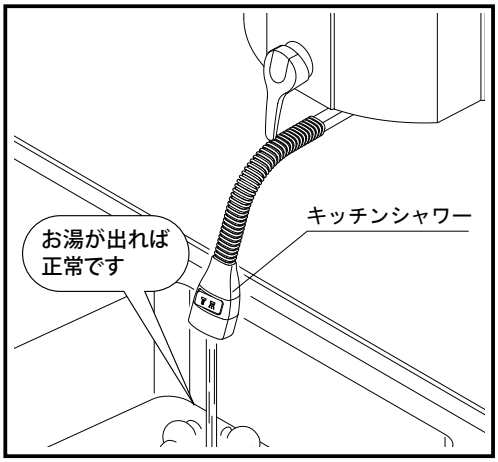


⑦出湯します。ハンドルを手前に引き上げると出湯量が増え、下げると減ります。

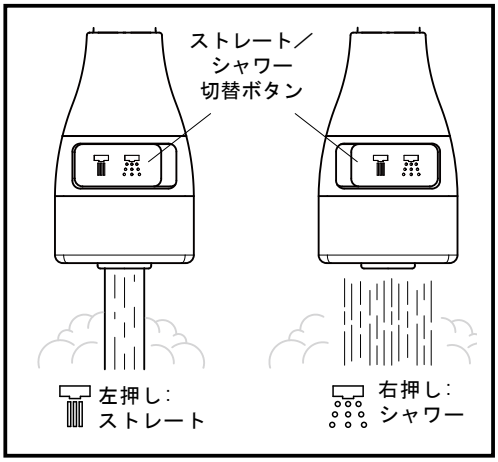


試運転を行う

⑧キッチンシャワーからお湯が出れば正常です。



⑨ストレート／シャワー切替ボタンを押して、切り替わるか確認します。



4. 試運転後の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
漏　水	各配管、継手に漏水はないですか？	□
給　湯	出湯ハンドルを引き上げると水やお湯が出ますか？	□
	出湯ハンドルを左右に回すと湯温が変化しますか？	□
電気工事	電源プラグ内蔵の漏電遮断機能は正しく作動しますか？	□

以上で施工終了です。

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1.使用前の準備と確認

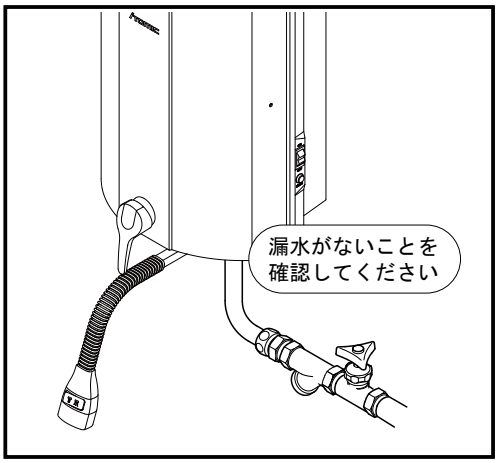
ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

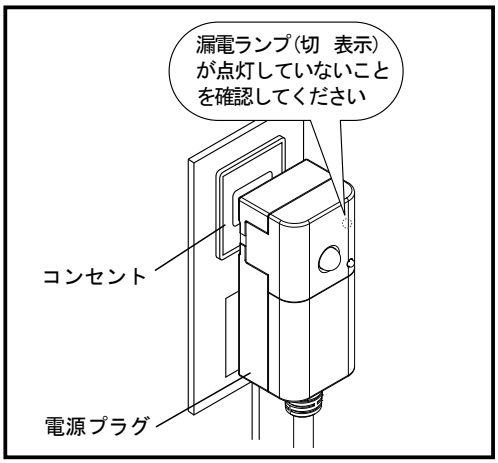
項　目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	本体の上に物などを載せていませんか？	☐

2.運転する

① P.15『温水器に給水する』を参照しタンクに給水して 、温水器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。

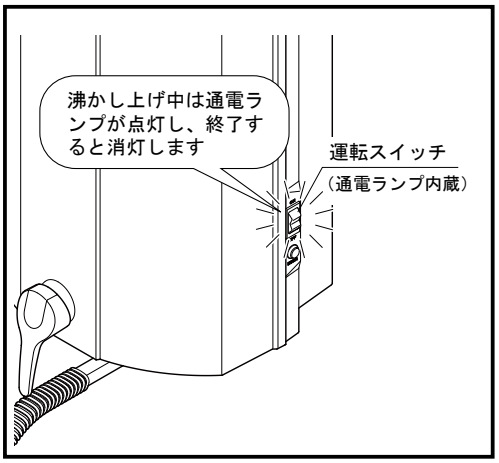


②電源プラグ本体の漏電ランプ（切 表示）が点灯していないことを確認してください。



③運転スイッチをONにして、通電ランプが点灯することを確認してください。沸し上げが始まります。

④沸かし上げが終了すると通電ランプが消灯します。(沸き上がり時間は下記の『沸き上がり時間の目安』参照)



沸し上げ時の注意事項

●機器内のタンクを満水にしてから運転スイッチをONにしてください。故障の原因となります。

●沸かし上げ中は運転スイッチ(通電ランプ)が点灯します。キッチンシャワーから膨張水が滴下しますが、故障ではありません。沸し上げが終わると通電ランプが消え、滴下も止まります。

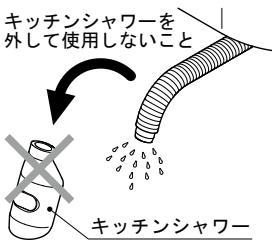
沸き上がり時間の目安

沸き上げ温度	沸き上がり時間		
	給水温度		
	5℃	15℃	25℃
約85℃	112分	98分	84分

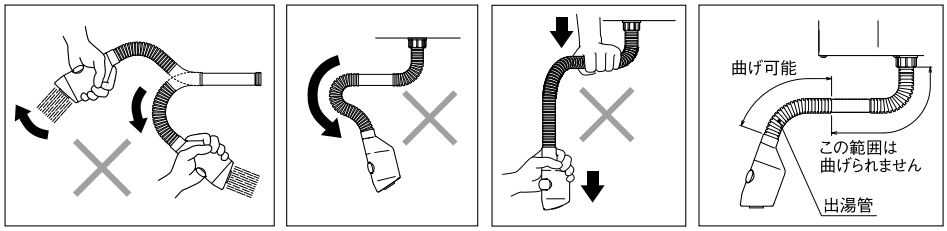
3. 出湯する

キッチンシャワーの先端は絶対にふさがないでください。また、キッチンシャワーに泡沫器具やホース・浄水器など取り付けないでください。
漏水、故障の原因となります。

キッチンシャワーを外して使用しないでください。
お湯が周囲に飛び散りやけどをするおそれがあります。



キッチンシャワーを持ってシンク内を流すなど 、出湯管を引っ張ったり無理な力を加えないでください。また、無理に曲げたりねじったりしないでください。
漏水、故障の原因となります。

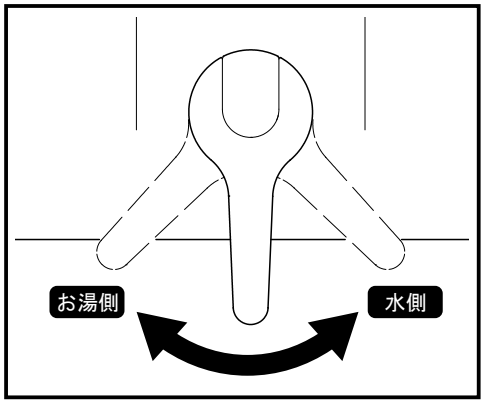


運転中は吸気栓をゆるめないでください。
吸気口から熱湯が出てやけどをするおそれがあります。

運転中は排水ツマミをゆるめないでください。
キッチンシャワーから熱湯が出てやけどをするおそれがあります。

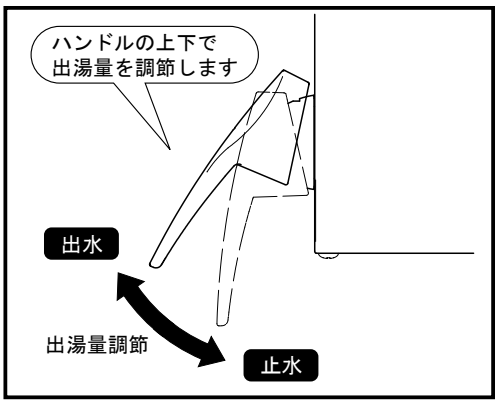
※上記を守らず漏水、故障した場合は保証期間内でも保証の対象とならず、
有料での修理または部品交換となります。

①出湯ハンドルは左側が高温、右側が低温となります。



※左側いっぱいが約 50℃、右側いっぱいが給水温度です。

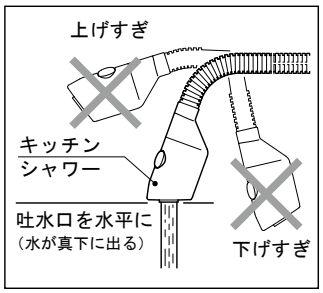
②出湯します。ハンドルを手前に引き上げると出湯量が増え、下げると減ります。



ワンポイント

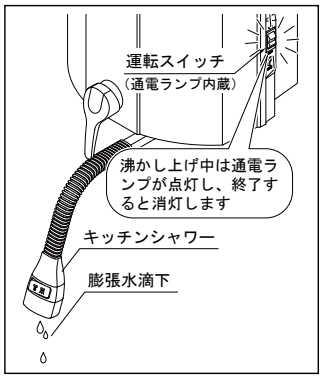
止水時のキッチンシャワーの向き

出湯ハンドルを下げて止水してもキッチンシャワーより少量たれることがあります。キッチンシャワーを真下に向け、吐水口を水平にするとたれる量が少なくなります。上げすぎ・下げすぎないように注意してください。たれても故障ではありません。



沸かし上げ時の膨張水滴下

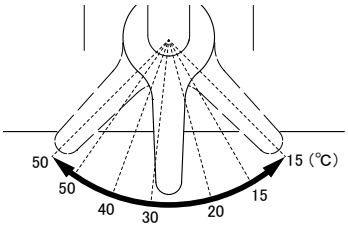
沸かし上げ中は運転スイッチ（通電ランプ）が点灯します。キッチンシャワーから膨張水が滴下しますが、故障ではありません。沸かし上げが終わると通電ランプが消え、滴下も止まります。

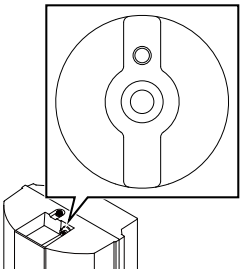


出湯温度の目安

出湯ハンドルの左右の位置による出湯温度の目安は右記のとおりです。

※給水温度約 15℃の場合
※給水温度、使用水圧（静止時）などの条件により出湯温度は変化します。





湯かげんダイヤル
本体上部に設置した湯かげんダイヤルにより 、混合湯の出湯温度を調整することが可能です。
右に回すと温度が上がり 、左に回すと下がります。
工場出荷時は約 50 ℃に調整されています。

調整可能な出湯温度
約 44 ～ 53℃

※出湯温度は給水温度により変動します。

連続出湯時間

85℃に沸し上げ完了の状態から出湯を開始して、使い切るまでの時間は約 4 分となります。
（給水温度約 15℃、流量約 6L/分、約 50℃で出湯した場合）

お手入れの方法

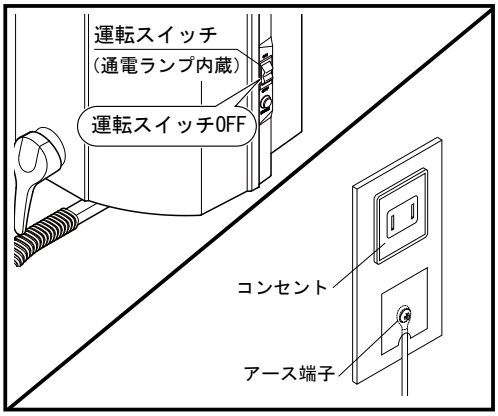
保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
コードおよびプラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化などの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために、運転スイッチをOFF にした後、電源プラグをコンセントから外してコンセントの周りやプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回／月
漏電遮断機能の動作確認	P.28『漏電遮断機能の動作確認』を参照し、漏電遮断機能の動作確認を行ってください。	
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日
タンク内部の清掃	出湯してタンク内の水を強制的に入れ替えてください。	1回／年

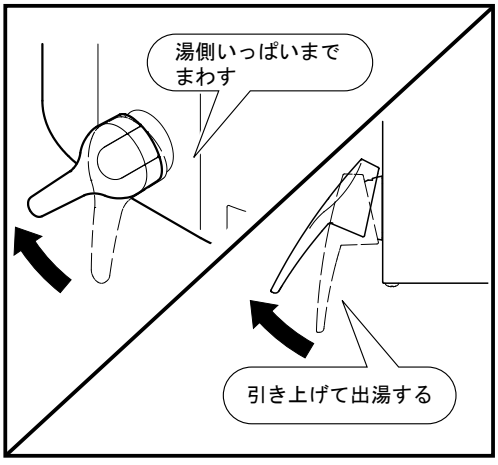
長期間使用しないときは

長期間、温水器をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、以下の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

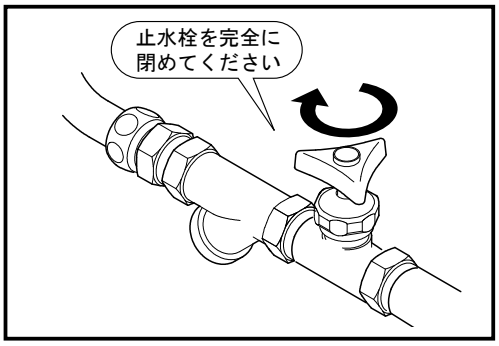
①運転スイッチがOFFになっていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いてください。



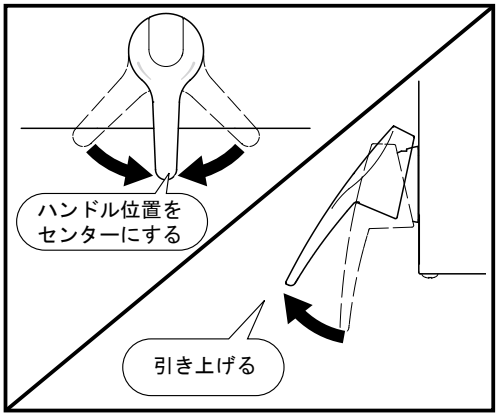
②出湯ハンドルを左側（「湯」文字方向）いっぱいまで回して出湯し、完全に水になるまで出し切ってください。



③止水栓を完全に閉めます。

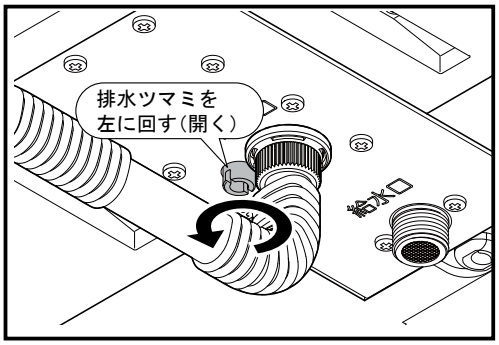


④出湯ハンドルを左右のセンターに合わせ、引き上げます。

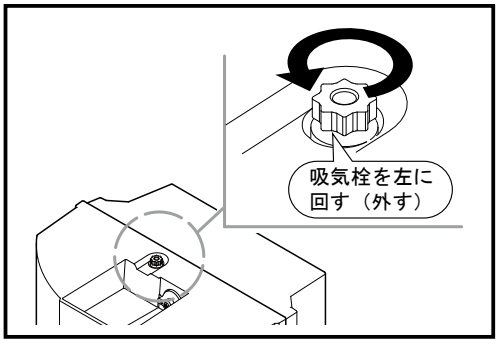


⑤本体底面、出湯管接続部の左側にある排水ツマミを左に回してゆるめてください。

※排水ツマミはゆるめても外れません。
※コインなどを利用して回してください。



⑥本体天面にある吸気栓（樹脂つまみ）を左に回して外してください。キッチンシャワーから排水が始まります。排水が完了したら、吸気栓を取り付けて排水ツマミを閉めてください。



お願い

・タンクが空のときには運転スイッチを ON にしないでください。
故障の原因となります。

ワンポイント P

ストレート／シャワー切替ボタンを左に押してストレートにすると、排水が完了したことがわかりやすくなります。

短期間使用しないときは

短期間温水器を使用しない場合には、状況に応じてそれぞれ下記の対処を行ってください。

●ご使用を停止する場合
運転スイッチをOFFにしてください。

●停電の場合
温水器の操作、止水栓の開閉など、機器や配管に対処する必要はありません。
停電からの復旧をお待ちください。

●断水の場合
止水栓を閉め、運転スイッチをOFFにして断水が終了するまでお待ちください。

凍結防止対策

凍結のおそれがある場合は次のどちらかの方法にて機器の凍結予防措置を行ってください。

＜機器の運転を継続しつつ凍結を予防する場合＞

機内温度を氷点下にしないために、機器の通電を継続し沸かし上げを続けてください。また、凍結の可能性がある場所では各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。

＜機器の運転を停止し凍結を予防する場合＞

① P.25「長期間使用しないときは」の手順に従い、温水器内の水を抜きます。
※排水が完了した後も出湯ハンドルを引き上げたまま、排水ツマミを開けたままにしてください。

②給水接続口の給水配管を外すか、給水接続口手前（一次側配管）の水抜き栓を開ける。
※水抜き後、給水接続口の給水配管を外した場合は外したままにし、水抜き栓を開けた場合は閉めずに開放しておいてください。
※水抜きが完全ではない場合には温水器内部に水が残り、凍結により製品が破損してしまう可能性があります。

③再使用時には出湯ハンドルを閉じて排水ツマミを閉め、外した給水配管や開いた水抜き栓を元に戻してください。
※排水ツマミを閉めずに運転を行うとやけど、故障の原因となります。

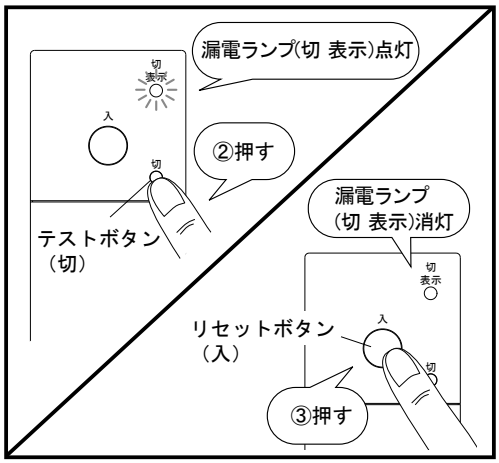
④ P.15「温水器に給水する」、P.17「試運転を行う」の手順に従ってください。
※機器内のタンクを満水にしてから運転スイッチをONにしてください。故障の原因となります。

漏電遮断機能の動作確認

①アース線が切れていたり、外れたりしていないか確認してください。

②電源プラグのテストボタン（切）を押して、漏電ランプ（切 表示）が点灯することを確認してください。

③リセットボタン（入）を押して、漏電ランプ（切 表示）が消灯することを確認してください。



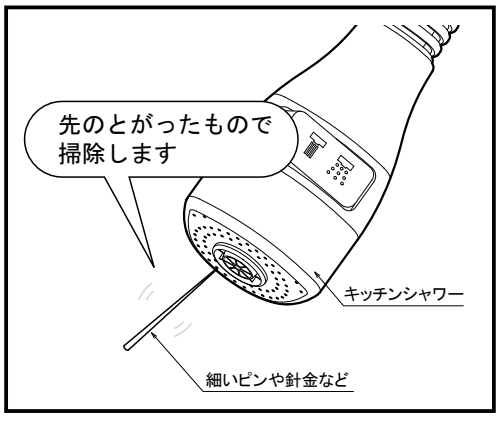
外装のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

キッチンシャワーのお手入れ

目詰まりしてシャワーの出が悪くなった時は、細いピンや針金などの先のとがったもので掃除してください。

※穴を変形させないように注意してください。
※キッチンシャワーは外さないでください。



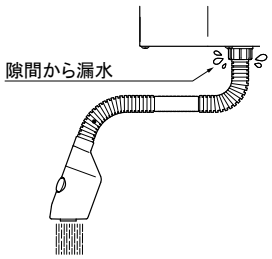
こんなときは

故障かな？と思ったら

温水器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。

ここに記載されている対処を行っても症状が改善されない場合は、P.33故障状況シートに記載の上、アフターサービス窓口までご連絡ください。

状　況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	電源プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	確実に差し込んである場合は 、結線部が断線していることもあります。コード部分を点検してください。
	運転スイッチがOFFになっていませんか？	運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。 ONにしても通電ランプが点灯しない場合は、電源プラグを抜き 、アフターサービス窓口までまでご連絡ください。
	温水器に給水されていますか？ （満水状態ですか？）	出湯ハンドルを湯側いっぱいまで回し 、引き上げてください。湯が出ない 、または断続的な出方の場合はタンクが満水になっていません。 → P.15『温水器に給水する』参照。 また 、瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	電源プラグの漏電ランプ（切 表示）が点灯していませんか？	リセットボタン（入）を押して漏電ランプ（切 表示）を消灯させてください。 → P.28『漏電遮断機能の動作確認』参照。
	故障ランプが点灯していませんか？	本器には「空焚き検出」および「過昇温検出」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が内蔵されています。復帰するには温水器の運転を停止してください。 → P.31『リセットの方法』参照。
	電圧が誤っていませんか？	本器を200 V で使用すると電源プラグ内蔵の過電圧保護機能が作動し 、電源を遮断します。AC100Vでご使用ください。
	停電ではありませんか？	復旧までお待ちください。P.30『停電後の運転について』もご確認ください。
湯温が低いまたは沸き上がり時間が長すぎる	出湯ハンドルの位置が水側（右側）になっていませんか？	出湯ハンドルをお湯側（左側）の位置で出湯してください。
	湯を大量に使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	水温が低くありませんか？	秋から冬にかけては水温が急激に下がるため 、沸き上がり時間が長くなります。 → P.22『沸き上がり時間の目安』参照。
	排水ツマミがゆるんでいませんか？	排水ツマミを右に回して閉めてください。

状　況	ご確認ください	対処方法
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足していませんか？	ストレーナーなどが詰まっている可能性がありますので、管理技術者の方に依頼し、清掃を行ってください。
	止水栓が閉まっていませんか？	十分に開けてください。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので 、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではありませんか？ 断水直後ではありませんか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。タンク内の水を入れ替えてください。
キッチンシャワーから水またはお湯がずっと出ている	出湯ハンドルが止水位置まで下がっていますか？	ハンドルをしっかり下げてください。
	通電ランプが点灯していませんか？	沸かし上げ中は運転スイッチ（通電ランプ）が点灯します。キッチンシャワーから膨張水が滴下しますが 、故障ではありません。沸し上げが終わると通電ランプが消え、滴下も止まります。
	排水ツマミがゆるんでいませんか？	排水ツマミを右に回して閉めてください。
漏水している	本体からですか？	止水栓を閉め、運転スイッチをOFFにしたあと、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各配管接続部を締め直してください。
	出湯時に出湯管の隙間からですか？ 	出湯管接続口のOリングを付属のOリングに交換してください。それでも漏れるようであれば 、内部部品が破損していますので交換が必要です。 止水栓を閉め 、運転スイッチをOFFにしてください。アフターサービス窓口、または弊社 Web サイトよりお買い求めください。 ●製品コード :334080　出湯管 550mm ●製品コード :334081　出湯管 750mm ●製品コード :334082　キッチンシャワー
温水器本体から音がする	沸し上げ中ですか？	沸し上げ中は湯温の上昇に伴って温水器本体から沸し上げ音を発する場合がありますが 、故障ではありません。
給水時、温水器本体や配管が振動音を発する	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか 、配管支持がされていないのではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水抵抗を少なくするよう 、Rを大きくするなど曲げ方を工夫してください。

停電後の運転について

停電復旧後は、停電が起こる前の運転状態で復帰します。
（運転スイッチがONの場合は運転を継続します。OFFの場合は運転停止したままとなります。）

その他の不具合について

その他の不具合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。

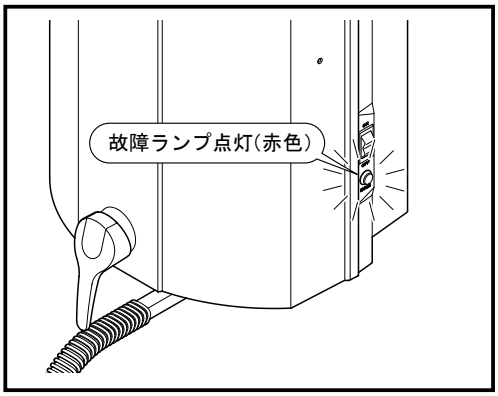
リセットの方法

故障ランプが点灯した際は

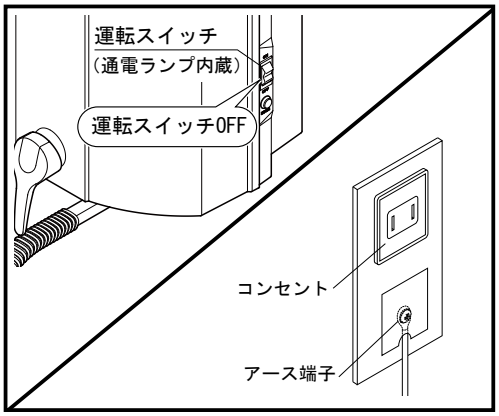
EWM-14Rには「空焚き検出」および「過昇温検出」（温度調節器のトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用の安全装置が内蔵されています。

ランプ点灯時はヒーターの空焚き、もしくは機器の故障により安全装置が作動して機器の運転が停止しています。

下記の手順でリセット操作を行ってください。



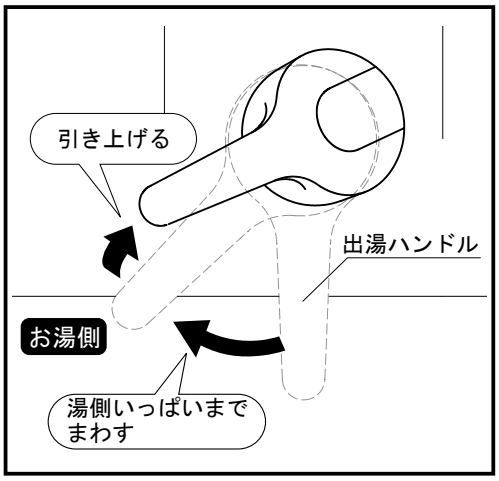
①運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。



②出湯ハンドルを左側（「湯」文字方向）いっぱいまで回してください。

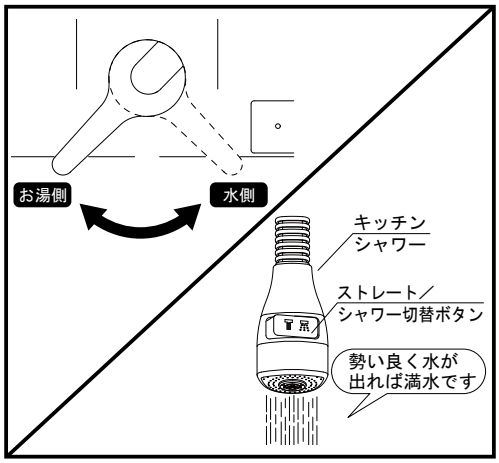
③その状態で出湯ハンドルを引き上げると機器内のタンクに給水が開始されます。満水になるまで約3分待ってください。

※途中からキッチンシャワーより断続的に水が出始めますが、そのまま給水を続けてください。



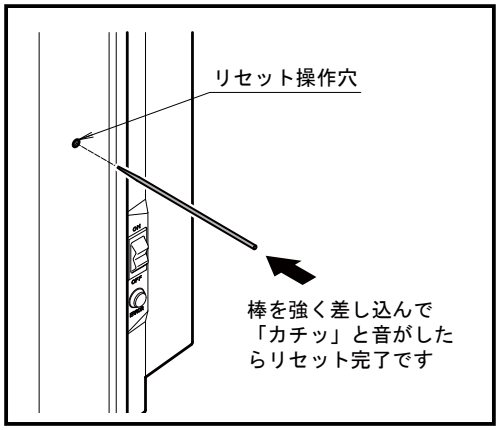
④キッチンシャワーから水が勢いよく出ているのを確認したら、出湯ハンドルを左右に回します。流量がどちらでも同じであれば給水完了ですので、出湯ハンドルを下げてください。

※出湯ハンドルが左側のときに断続的な出方の場合は、②から④を繰り返してください。



④本体右側にあるリセット操作穴に棒（直径2.8mm以下、長さ50mm以上）を「カチッ」と音がするまでしっかりと強く押し込んでください。音がしたらリセット完了です。

⑤リセット後はP.21「運転する」からやり直して運転を再開してください。



ワンポイント P

故障ランプが頻繁に点灯する場合は、機器が故障している可能性があります。止水栓を閉めて運転スイッチをOFFにし、アフターサービス窓口までご連絡ください。

アフターサービス

有寿命部品について

本製品の部品は、使用しているうちに徐々に劣化する有寿命部品です。本製品を長く、安全に使用していただくためには、弁類、パッキン類、電装部、カートリッジ、出湯管などの劣化した部品を交換する必要があります。

・部品交換（有償）はアフターサービス窓口までご連絡ください。
・交換時期目安：設置より3年～７年
※使用頻度、環境によっては交換が早まる場合があります。

補修用性能部品について

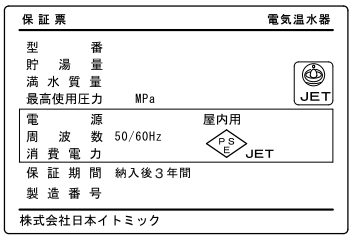
本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後７年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは 、P.33の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。（型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。）


保証票　電気温水器

型　番
貯　湯　量
満水質量
最高使用圧力　MPa

電　源　屋内用
周　波　数　50/60Hz
消費電力

保証期間　納入後３年間
製造番号

株式会社日本イトミック

アフターサービス窓口

TEL　〈全国共通ナビダイヤル〉

ナビダイヤル　**0570-011039**

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日（営業時間:8:45～17:45）

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03（3621）2161　**関東地区以外のお客様：**裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット　〈インターネット修理受付窓口〉

https://www.itomic.co.jp/repair/

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX　〈FAX 修理受付窓口〉 03（3621）2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。P.33 の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。（裏表紙に記載）

アフターサービス

故障状況シート			
貴　社　名		ご担当者名	
ご　住　所			
T　E　L		F　A　X	
製品型番	EWM-14R		
電源、電力	単相 100V　701W	製造番号	
設置場所		保証期限	
状　　態			

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
   （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
   （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
ホームページ　https://www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

ナビダイヤル® **0570-011039**

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2161**
FAX：03（3621）2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2760**
FAX：03（3621）2160

《担当エリアと営業所》

北海道地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：011（615）6681**
北海道営業所 **FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：022（357）0848**
東北営業所 **FAX：022（357）0847**
〒983-0014　宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121**
（株）日本イトミック　本社 **FAX：03（3621）2130**
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：052（222）2561**
中部営業所 **FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：06（7177）4949**
関西営業所 **FAX：06（7177）4948**
〒541-0056　大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：082（240）1361**
中国営業所 **FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町 2-3-9（大手町中村ビル 2F）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：092（481）3911**
九州営業所 **FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。